

## PRESS RELEASE

市政記者各位

福岡アジア美術館  
令和 8 年 7 月 30 日

### 手話通訳付きギャラリーツアーを開催 「アジア美術の歩き方 東アジア編」を手話で楽しむ特別ツアー (2026 年 8 月 22 日)



福岡アジア美術館（福岡市博多区）では、現在開催中の「アジア美術の歩き方 東アジア編」において、手話通訳付きギャラリーツアーを開催します。昨年スタートした好評企画を今年も実施し、学芸員による作品解説を手話通訳とともに楽しみいただけます。手話を日常的に利用される方はもちろん、手話に関心のある方や学習中の方にも気軽にご参加いただける内容です。

つきましては、市民の皆さまへの広報ならびに、当日の取材についてご協力をお願いいたします。

#### ■開催概要

|       |                                                      |
|-------|------------------------------------------------------|
| イベント名 | 手話通訳付きギャラリーツアー                                       |
| 日時    | 2026 年 8 月 22 日（土）14:00～14:50／受付開始 13:30（アジアギャラリー入口） |
| 会場    | 福岡アジア美術館 7 階 アジアギャラリー（博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル）       |
| 定員    | 20 名（当日先着順）                                          |
| 参加費   | 展覧会チケットが必要                                           |

※次の方は、アジアギャラリーを無料で観覧できます。

身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者 1 人、特定医療費（指定難病）受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人、福岡市、北九州市、熊本市及び鹿児島市民で住所と 65 歳以上を確認できる証明書（運転免許証、健康保険証等）の提示者本人。

#### ■本事業の特徴

##### 1. 誰もが鑑賞を楽しめるミュージアムへ

聴覚障がいのある方だけでなく、手話に関心のある方や学習者にも開かれた鑑賞機会を提供します。

##### 2. 東アジアの多彩な美術に触れる

日本、韓国、中国、台湾、モンゴル、北朝鮮の作品を通して、東アジアの文化的多様性や芸術表現の魅力を紹介します。

#### ■展覧会概要

|       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| 展覧会名  | アジア美術の歩き方 東アジア編－近さと違いをめぐる旅－              |
| 会 期   | 2026 年 4 月 18 日（土）－8 月 30 日（日）           |
| 会 場   | 福岡アジア美術館 7 階 アジアギャラリー                    |
| 開館時間  | 9:30～18:00（金・土は 20:00 まで） ※入室は閉館 30 分前まで |
| 休 館 日 | 水曜日 ※7 月 9 日～8 月 31 日は無休                 |
| 観 覧 料 | 一般 200 円／高大生 150 円／中学生以下無料               |

#### ■公式サイト

<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/exhibition/26028/>

お問い合わせ

福岡アジア美術館 学芸課 交流・教育係 担当：蒲池・山下  
TEL：092-263-1103／FAX：092-263-1105



「アジア美術の歩き方 東アジア編」

# 手話通訳付き ギャラリーツアー

福岡アジア美術館では昨年から始まった、「手話通訳付きギャラリーツアー」を今年も開催します。本ツアーには手話通訳が同行し、学芸員による解説を手話でもお楽しみいただけます。

今回ご案内するのは、「アジア美術の歩き方 東アジア編」。福岡アジア美術館の約 5,800 点の所蔵品からアジア各国の個性豊かな作品の数々を、1 年を通して地域ごとに紹介する企画です。シリーズ最初の「東アジア編」では、日本・韓国・北朝鮮・中国・台湾・モンゴルの 6 개국・地域の美術をご紹介します。担当学芸員によるここでしか聞けない話、展覧会に込められた思いなどを、手話による対話を交えながらお届けします。手話を使われる方はもちろん、手話に関心のある方や勉強中の方もぜひお気軽にご参加ください。

手話で対応します

定員：20 名（当日先着順）

当日 13:30 からアジアギャラリー入口で受付

参加費：展覧会チケットが必要です。

一般 / 200 円 (150 円) 高・大生 / 150 円 (100 円)

中学生以下 無料

※( ) 内は、20 人以上の団体料金

※次の方はアジアギャラリーを無料で観覧できます。

身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者 1 人、特定医療費（指定難病）受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人、福岡市、北九州市、熊本市及び鹿児島市民で住所と 65 歳以上を確認できる証明書（運転免許証、健康保険証等）の提示者本人。

2026  
8/22(土)

福岡アジア美術館  
アジアギャラリー（7F）

14:00-14:50

【お問い合わせ】  
【主催】

E-MAIL faam@faam.ajibi.jp / TEL 092-263-1100 / FAX 092-263-1105  
福岡アジア美術館（福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル 7・8 階）

 福岡アジア美術館  
Fukuoka Asian Art Museum

# ASIAN ART WALK



福岡アジア美術館  
Fukuoka Asian Art Museum

観覧時間 9:30 - 18:00 (金・土曜は20:00まで) ※ギャラリー入室は閉室30分前まで

休館日 水曜日 ※ただし、7/9-8/30の期間は水曜も開館

観覧料 一般 200(150)円 高大生 150(100)円 中学生以下無料

※( )内は20人以上の団体

※以下を提示していただくと本展の観覧料は無料になります。身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人、特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人、福岡市、北九州市、熊本市及び鹿児島市で住所と65歳以上を確認できる証明書(運転免許証、マイナンバーカード等)の提示者本人

**FaN**

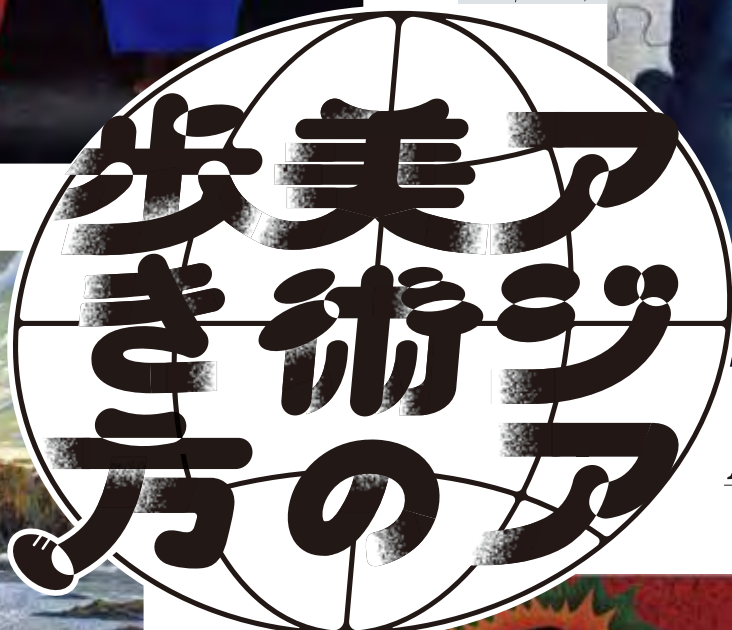
Fukuoka Art Next

メイ・ディンイー(梅丁衍)[台湾]  
《三民主義が中国を統一する》1991年  
Mei Dean-E [Taiwan]  
Three Principles Unite China, 1991



Fukuoka  
Asian Art  
Museum

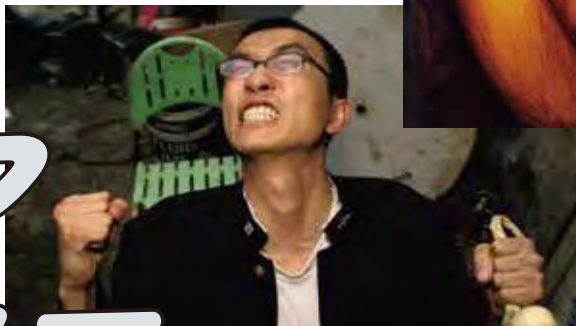
金サジ[日本/韓国]《双子》2016年  
Kim Sajik [Japan / South Korea] Twins, 2016



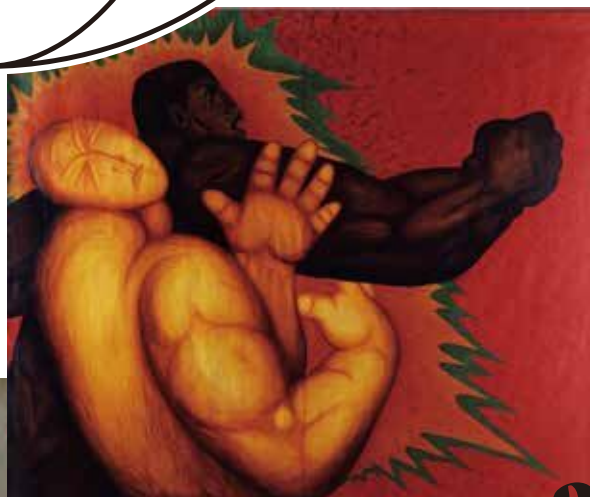
東  
ア  
ジ  
ア  
編

**EAST ASIA**  
Exploring Proximity  
and Difference

ツェレンナドミディン・ツェグミド  
[モンゴル]《オルホン河》1993年  
Tserennadmidin Tsegmed  
[Mongolia] Orkhon, 1993



チョ・スブ[韓国]  
《かなわぬ恋—無題5》2004年  
Jo Seub [South Korea]  
Tragic Love-No Title 5, 2004



ヤン・マオリン(楊茂林)  
[中国]《形式の行動—闘争編—》1987年  
Yang Mao-Lin [Taiwan] Behavior of form: Fighting Section, 1987

近さと違いを  
めぐる旅

2026

4.18(土)

8.30(日)



2026年度の福岡アジア美術館では、コレクション展のシリーズ企画として「アジア美術の歩き方」を開催します。本シリーズでは、アジア美術に初めて触れる方にも親しみやすい形で、「東アジア」「南アジア」「東南アジア」の3つのエリアの作品とそれぞれのエリアの特色をご紹介します。アジア各地の個性豊かな作品は、地域ごとの風土・歴史・文化、そしてそこに生きる一人ひとりの喜び・悲しみ・願いといった様々な思いを伝え、あなたの世界を大きく広げてくれるはずです。約一年をとおして、これまで目にしたことのないアジアの一面との出会いをお楽しみください。



# ASIAN ART WALK

## 東アジア編 EAST ASIA 2026.4.18(土)→8.30(日)

シリーズ最初の「東アジア編」では、日本・韓国・北朝鮮・中国・台湾・モンゴルの6か国・地域の美術をご紹介します。東アジアの諸地域の間には、古代以来の非常に長い相互交流の歴史があり、文化の面では漢字や儒教、仏教、食生活など共有する要素が数多くあります。一方で、それぞれの地域には個別の風土や歴史的な歩みがあり、それが互いに異なる習慣や考え方を生み出してきたことも事実です。

本展では、そのような東アジアで生み出された美術作品約60点を、「風土と歴史」「国・地域間の相互関係」「それぞれの社会に生きる個人」という三つの視点から取り上げます。各地域の風土や歴史は、その地の世界観や表現にどのような特色をもたらしているのか。東アジアの人々の関係は、どのように交錯してきたのか。そしてそれぞれの環境のなかで、人々は何を思いながら、いかに現在を生きているのか。

複雑な過去の歴史を背負いながら、東アジアの状況は現在も大きく揺れ動き続けています。来場者の皆さまにとって本展が、東アジア地域について理解を深める機会となるとともに、その未来を考えていく際のヒントを提供するものとなれば幸いです。

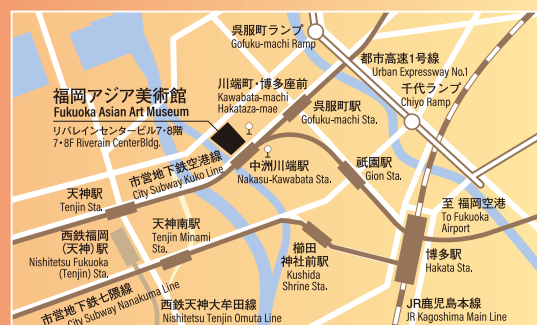
East Asia, as the opening chapter of the series, presents works of art from six countries/regions: Japan, South Korea, North Korea, China, Taiwan, and Mongolia. The history of mutual exchange in these regions of East Asia dates back to ancient times, with numerous cultural commonalities, such as Chinese characters, Confucianism, Buddhism, and food. On the other hand, the distinct climates and historical paths of each region have nurtured unique customs and ways of thinking.

This exhibition introduces over 60 works of art from East Asia through three sections: "Climate and History," "Interrelationships Between Nations/Regions," and "Individuals in Each Society." How did the climate and history of each region shape people's vision and ways of expression? How have human relations in East Asia intersected with each other? What do people hold in their hearts, and how do they embody their lives today within respective environments?

The current situation in East Asia remains quite volatile, shouldering its complex historical trajectories. We hope this show will be an opportunity to deepen our understanding of the region and provide us with a clue to consider its future.



【1】ユン・ヒョングン(尹亨根) [韓国]《茶青色 337-75 #203》1975年 Yun Hyongkeun [South Korea] *Umber-Blue 337-75 #203*, 1975 【2】作者不詳(チャイナ・トレード) [中国]《広東のコンスワー邸 #1》19世紀初期 Artist Unknown [China Trade Painting] [China] *The House of Consequence, a Chinese Merchant, Canton #1*, early 19th century 【3】キャンディー・バード 龔榮梨 [台湾・朝鮮]《アザースー Good Night, and Good Morning》2019年 Candy Bird, Che Yonli [Taiwan / Korea] *Others—Good Night, and Good Morning*, 2019 【4】岩井成昭 [日本]《DIALOGUE》1996-99年 Iwai Shigeaki [Japan] *Dialogue*, 1996-99



### 福岡アジア美術館 Fukuoka Asian Art Museum

交通案内  
●市営地下鉄 中洲川端駅 [6番出口]  
●西鉄バス 川端町・博多駅前  
●車 太宰府方面から 都市高速千代ランプより 7分  
北九州方面から 都市高速呉服町ランプより 5分  
※リバーライン地下駐車場(有料)へは、昭和通りの中央分離帯からお入りください。

同時開催  
の展覧会

Mr.の個展: いつかある晴れた日に、きっとまた会えるでしょう。  
2026.4.24 [金]→6.21 [日]

### ANNUAL PASSPORT 年間パスポート

「アジア美術の歩き方」では、本シリーズの展示を何度でも観覧できるお得な年間パスポートを販売します。近隣のグルメ店と提携しての特典も企画。ぜひご利用ください。



【価格】一般1,000円 高大生800円

【販売場所】福岡アジア美術館7階ミュージアムショップ「ロンホア」他

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバーラインセンタービル7・8階  
7・8F Floors, Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan  
Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105

公式サイト <https://faam.city.fukuoka.lg.jp>  
Instagram [fukuoka\\_asian\\_art\\_museum](https://www.instagram.com/fukuoka_asian_art_museum)



おいでよ! 夏の美術館 vol.3 大どろぼうの家  
2026.7.9 [木]→8.30 [日]